

Discovery

Autumn 2017 vol. 14

HIYOSHI
株式会社日吉



info@hiyoshi-es.co.jp
www.hiyoshi-es.co.jp/



インドインターンシップ2017

本社：〒523-8555 滋賀県近江八幡市北之庄町908 TEL(0748)32-5111(代) FAX(0748)32-3339 / 東京支店：〒107-0052 東京都港区赤坂9-1-7 TEL(03)5772-6073(代)

海外事業



環境計量の世界的認定NABLを独自に取得

2017.4.25

インド



日吉インドではインドの環境計量証明事業許認可(以下NABL※1)を取得しました。

NABLは日本の計量証明事業許認可に相当。ISO/IEC※2の17025:2005に準拠し、APLAC※3やMRA※3にも署名している国際的な相互認定の基準となります。日吉インドにとって初となる許認可申請であり、問題点・不明点ばかりの中、日吉社員が自力で準備を行い、1年半がかりでようやく実現しました。認定を得たことでこれまで制限されていた活動範囲が大きく広がると期待しています。今回の認定範囲は排水・上水分野であり、今後は更に広い分野に拡大して行く予定です。

※1 NABL：(インド試験所認定機構) National Accreditation Board for Testing and Calibration Laboratories
※2 ISO：国際標準化機構(International Organization for Standardization) IEC：国際電気標準会議(International Electrotechnical Commission)
※3 APLAC：アジア太平洋試験所認定協力機構(Asia Pacific Laboratory Accreditation Cooperation) MRA：相互承認協定(Mutual Recognition Agreement)

インドでマラソンイベント開催!

(日吉&日吉インド協賛) 2017.7.18

インド

日印文化交流週間のイベントの一つとしてインド・チェンナイでミニマラソンが開催され約400名が参加。

2020年に開催される東京オリンピックを盛り上げるためABK-AOTS※同窓会が3年前より主催・実施しているものです。日吉と日吉インドは日吉のロゴ入りペットボトル飲料などの協賛を通して大会に参加しました。

※ABK(アジア文化会館)-AOTS(財団法人海外技術者研修協会)



ベトナムと日吉の架け橋となる

タオ博士が来社 2017.6.2

ベトナム

ベトナムの政府機関VAST※1退官後、IESH※2の所長として受託分析や水質モニタリング装置※3の開発・販売を行うタオ博士が来社しました。日吉とともにビジネスを模索したいという要望から、私たちは事前にIESHを訪問しており、機密保持契約の締結はすでに完了。トレーニング機関の設立に向けた派遣先の候補として日吉のラボ見学などが行われました。

※1 VAST：ベトナム科学技術院(Vietnam Academy of Science And Technology)
※2 IESH：環境公衆衛生研究所(Institute of Environmental Science and Public Health)
※3 UVを利用したCOD等の計測装置



インターンシップ



インドの22州58大学95人の応募者から選ばれた2人が来日

インド

本年も2名のインターンが来日し、約7週間にわたって日吉で様々な研修を受けました。ニヴェータ(Nivetha Thyagarajan)さんは日本語検定3級を持ち、環境化学工学分野への興味から応募。ナンディニ(Nandhini Srinivasan)さんはK.C.G College of Technology土木工学を卒業し、現在は、インドで最も古く権威ある大学の一つであるAnna Universityの修士課程で環境工学を学んでいます。さまざまな環境に関する知識をインドに持ち帰り、役立ててもらえるよう、生活排水処理、環境分析、廃棄物など日吉が行う環境サービスを体験しました。

また、日吉が支援する立命館大学のPBLプログラムにも参加し、インドの抱えているさまざまな課題を日印の大学生が現地で協働しながら解決をめざすという取り組みを一部体験しました。



インド・インターンシッププログラム

本プログラムは、日印の架け橋となる次世代の養成と、インドにおける日吉ネットワークの拡大をめざし2006年にスタートしました。これまでに27名が来日し、日吉において環境研修を受講。2017年はインドの22州58大学から95人と過去最多となる応募があり、ABK-AOTS同窓会の協力のもと、2名が選考されました。

国内

- 八幡東中学校
- 八幡工業高校
- 埼玉県開智未来中学校
- 大阪府立大学工業高等専門学校
- 滋賀県立大学

海外

- インドインターンシップ
- JSTさくらサイエンスプラン(フィリピン・インドネシア)

国内事業



分析通販をより分かりやすく使いやすく 「日吉オンライン検査Web」リニューアル!

2017.4.11

当サイトは当初は法人を対象に工場排水等の分析のオンラインショッピングサイトとして2009年6月に開設しました。当初の思惑に反し、法人のお客様だけでなく、個人のお客様まで幅広いご依頼があるなかで、ご要望に応じ少しずつ商品やサービスを改良してきました。今回は多様化するニーズにお応えすべく、よりわかりやすく、使いやすいように大幅にリニューアルしました。



オンライン検査電子報告システム「アナレポ®」

年間契約を頂きましたお客様にはアナレポ®を無料でご提供しています。アナレポ®とは、検査結果の電子報告・閲覧・管理サービスで、異常値の早期対策、データ管理などに活用できます。



「回文式活性汚泥法(SBR)によるし尿処理」の取組みが近畿経済産業局に紹介される

2017.4.26

東日本大震災発生時、滋賀県から災害救援要請を受けた日吉は、し尿の運搬処理に従事。その経験を踏まえ、災害に強い街づくりをめざす近江八幡市に、休眠廃墟となっていた旧し尿処理場の再生を提言しました。回文式活性汚泥法(SBR)という前例の無い処理方式を導入し、

SBRによる処理: <http://www.kansai.meti.go.jp/3-6kankyō/H29FY/mizusyori-PRsheet/PRsheet10-2.pdf>

し尿等の一時保管施設からし尿等の処理も行える施設へと改造を実施。さらにセンサー、カメラ等によるIoT遠隔監視なども取り入れながら低コストで仕上がったことが評価され、「平成28年度近畿地域の中小企業等における水処理に係る取組事例調査」に事例紹介されました。

社会貢献



小学校でゴミ学習の授業を行い 環境意識を醸成

2017.4.26 / 2017.5.8

近江八幡市、安土町、竜王町の小学校13校の4年生児童を対象に、ごみ収集車の仕組みやゴミの分別方法についての授業を実施。ゴミを見直し、資源を大切にすることを育む機会にしています。学んだ知識を周囲の大人に伝えてもらうことで、ゴミの減量化や正しい分別に導くことも目的のひとつです。



表彰・学会活動

環境学会において大学との共同研究を発表

2017.3.15~2017.3.17

熊本で開催された第51回日本水環境学会に参加。昨年に続き、滋賀県立大学の須戸幹教授および関東学院大学の鎌田素之准教授との共同研究として実施した河川整備基金助成事業の研究「水道水源における新たな監視対象農業に関する検討」の成果を発表しました。

日本水環境学会参加の目的

日吉では、研究や技術のレベルアップをめざし、学術的調査や研究、知識の普及、健全な水環境の保全と創造への寄与、学術・文化発展への貢献を目的とする当学会に参加しています。

環境関係功労者として表彰を受ける

2017.6.23

日吉の富江利博(当時 分析研究課長、現営業部長)が滋賀県計量協会より表彰を受けました。入社以来33年間、環境計量証明事業に従事し、特定計量証明濃度(ダイオキシン類)の事業登録ほか、新たな分析事業の立上げ、規定類の作成と整備および工程管理者としての指導など環境測定分析業務全般の向上に大きく貢献したことが評価されました。



功労事業社として表彰

2017.6.24

一般社団法人滋賀県産業廃棄物協会より、産業廃棄物界に寄与し、長年協会の運営に貢献したとして表彰を受けました。



- 用紙: 琵琶湖の環境保全活動を支援する寄付金付びわ湖環境ペーパー 適切に管理された森林の木材を利用したFSC®認証用紙
- インキ: 大豆油インキを含む植物油インキ
- 印刷: 有害な廃液を排出しない水なし印刷
- 製造・廃棄に発生するCO₂を滋賀県内の排出削減事業者のクレジットによりカーボンオフセット済
- CO₂排出量: 169.874kg/3,000部